

地域の医療をサポートする情報誌

# caress press

カレスプレス - 愛と信頼の輪 -

2019  
冬号  
No.38

## CONTENTS

### 特集1

第99回 法人全体研修会

テーマ「要介護者のケーススタディ」

#### MEDICAL ONLINE

介護保険についてご紹介 - 時計台記念病院

#### NEWS - 新任医師のご紹介

#### NURSE\*NURSE

#### TOPICS

第7回地域医療連携懇話会を開催しました  
敬老会を開催しました 他

特集



第99回 法人全体研修会  
テーマ「要介護者のケーススタディ」

介護老人保健施設 けあ・ばんけい リハビリテーション部 部長 肥田 秀昭

今年度の法人全体研修会は、各施設の役職者による講演会を開催しています。第2回目は介護老人保健施設けあ・ばんけいの在宅におけるリハビリテーションの活動についてご紹介いただきました。

—— 在宅におけるリハビリテーションについて

今回は、在宅系のリハビリを紹介いたします。  
よく「リハビリをお願いします」と依頼されるのですが、どこに対してどのようにアプローチしたらよいかかわからないことがあります。もちろん、身体機能面に対するアプローチは行いますが、それで「はい、良くなりましたね」とすぐに問題が解決するわけではないことが往々にしてあります。何故なら、介護をするご家族が様々な問題を抱えていることが多いからです。そのような状況でセラピストの立場で何が出来るのかをいつも模索しています。良かれと思って行っていることが的外れになり、全く利用者さまの役にたっていなかった・・・ということもありますので、まずは家庭環境を含めて全体像を把握することはとても大切なことです。



—— 問題を解決するポイント

ご家族からはとにかく目の前にある「困っていること」を何とかしてほしいという希望を伺うことが多いのですが、根本的な問題を解決しないことに何も解消されません。

7つのニーズ

・健康管理	・経済状態
・ADL	・家族関係
・介護負担	・社会交流
・家事	

まず、要介護者の方がどのような疾病の状態にあるのか、急性期なのか慢性期なのか、予後がどうなっているのかを知ることが大切です。そして動作の自立度はどの程度なのか、生活面での自立度も大切ですが、それにプラスしてどこでいつ行うのか時間帯や頻度も大切です。それにより、もし介助者が必要であればどの程度の負担がかかるのか考慮しなければなりません。

介護負担については、実際介助される方の体力や体格、介助に関わる人が何人いるかによって量と質が変わってきます。介護者にもご自身の生活がありますので、介護負担を軽減するためにどのような福祉機器を使用したらよいかなどの相談も必要になってきます。

また、経済状態についてもどのようなサービスが利用できるのか、あるいはご自宅の改修などを検討した場合は色々お金がかかりますので、そういった部分に余裕があるかどうか大きな問題になります。

そして、介護をする上で「ストレス」が一番大きな要素になります。その大部分を占めているのが家族関係になります。要介護者と介護にあたる人の間柄がどう関係（血縁・義理）なのかによって介護に対するストレスの大きさも変わってきます。

ストレスを溜めないために、要介護者と介護者それぞれ家族以外との交流をすることでストレスを軽減することができます。要介護者はデイサービスなどを利用して仲間と楽しい時間を過ごしたり、介護者は友達と会ってお話をするなど少しでも気持ちを楽にすることが大切です。

—— 介護者の感じるストレス

介護者が感じるストレスの中に、サービスに頼ることに罪悪感を覚えたり、介護を休む、または誰かにまかせることに対してさぼっているのではないかと不要な罪悪感を持つケースがあります。その他には誰にもわかってもらえない、頼れないという孤独感、そして、この先どうなっていくのか、この状況がこれからもずっと続くのだろうかという不安も抱えています。

—— 通所系サービスの有用性

色々積み重なって出てくる「ストレス」を、サービスを利用することで問題を解決していくことができると考えています。

- 介護者に対しては、
- ・介護から解放される時間の提供(レスパイトケア)
  - ・孤独や不安の解消



▲介護老人保健施設けあ・ばんけい

色々なサービス提供者が介入することによって介護に関する相談や不安の解消、また、同じように介護をしている方々と交流することで孤独を解消することができます。

- 要介護者に対しては、
- ・生活リズムの改善
  - ・心身への刺激入れの機会
  - ・運動機能の改善
  - ・気分転換



ご自宅でいつ起きてもいい状態になると起きる時間がだんだんと遅くなり、昼夜逆転して生活のリズムが崩れてきます。そのような状態になると日中寝て夜起きてトイレに行くことが増えていきます。

良い生活リズムを作るためには、週に数回決まった時間に起きるという状況を作るのが大切です。外に出て色々な人と接しながらリハビリを行うので機能の回復にも繋がり、夜もぐっすり眠ることができます。

在宅介護は介護者がいないと成り立ちません。当然要介護状態の人に対してのケアも大切ですが、それと同じくらい介護者に対してのケアも重要になります。

まずはご家族とよく話し、何に困っているのかを一緒に整理することもサービス提供側として大切な仕事ではないかと思えます。

介護老人保健施設けあ・ばんけい

〒064-0945 札幌市中央区盤渓 232-7

TEL 011-615-9623      TEL 011-615-2335

☐介護老人保健施設   ☐短期入所療養介護   ☐通所リハビリテーション   ☐訪問リハビリテーション

ホームページ <http://www.carebankei.jp/>

介護保険制度は2000年に始まり、今ではずいぶん定着した制度となりました。利用されたことがある方も、これから検討中の方もいらっしゃるかと思います。

ご家族や、お知り合いで「最近、歩くのがつらくなってきた。リハビリをするにはどうしたらいいのだろうか。」「ご近所の方が保険を使って、手すりを付けたと聞いたけれどどうしたらいいのかしら?」「家族の勤めで車の運転をやめた父が、あまり家から出なくなりました。大丈夫かな?」など感じておられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。このような時はぜひ介護保険の利用についてご検討ください。

介護保険をはじめて利用する際の方法や確認するべき点についてご紹介いたします。

### — 介護保険で何ができるのか? —

ご自宅で生活されている方が、利用できるサービスは大きく3種類あります。

#### ● 訪問系サービス

ホームヘルパー (ヘルパーさん)	家事を手伝ってくれたり、体の介助をしてくれます。
訪問看護	看護師さんが自宅を訪問し薬のチェック、体調チェックなど行なってくれます。
訪問リハ	自宅にリハビリのスタッフ(PT/OT/ST)が訪問し自宅環境を生かしたリハビリテーションを行ってくれます。

・・・など

#### ● 通所系サービス

リハビリや、趣味活動、入浴、昼食等を行っています。自宅まで送迎バスによる送迎も可能です。またお泊りのサービスもあります。各事業所では特色のある事業を行っています。

#### ● 福祉用具等物の準備のサービス

自宅の環境整備のため、住宅改修(工事を伴う)を20万円分まで行えます。また、車いすや介護用ベッド等のレンタルすることが出来ます。

## Introduction



時計台記念病院

西川 聖子

地域連携課  
医療ソーシャルワーカー



### — では、利用資格はある? —

65歳になると札幌市の場合、ピンクの介護保険証がお手元に届きます。この介護保険証を添えて、お住いの区役所の保健福祉課に申請手続きを行い、区分認定を受けた方に利用資格が生じます。40歳から64歳までの方で、指定された16病名の診断を受けている方も申請できる対象者となります。

ゆえに、介護保険によるサービス利用希望の場合はまずは区分認定のための申請を行います。

### — 申請はどのようにするの? —

申請  
窓口

**札幌にお住まいの方**

～お住いの区役所の保健福祉課

**札幌以外にお住まいの方**

～お住いの市町村 役場 介護保険の担当課

申請  
方法

必要書類を申請窓口に提出します。

○申請書

(各市町村で異なる書式が準備されています。)

○介護保険被保険者証

(見当たらない場合は、その旨申請時に申し出る。)

認定結果が出るまでに1カ月ほどかかりますので、必要時は早めの申請がおすすめです。

### — 認定結果がでたら・・・ —

認定結果が印字された保険証が、封書で自宅に届きます。同封の資料に介護保険を利用するための相談担当となるケアマネージャー(居宅介護支援事業所)の事業所一覧が入っています。複数事業所があるので、迷ってしまう方も多いのですが、ご自宅から近いところや、使ってみたいサービスのある事業所にご自身で連絡してみます。その後、介護保険を利用するための計画書を作成してもらい、計画書に従ったサービス利用を行なうこととなります。

是非ご自身や、ご家族、お知り合いが必要な時ご活用をご検討されてみてください。

## 時計台記念病院

TEL (011)251-1221  
<http://www.tokeidaihosp.or.jp/>

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

【診療時間】 9:00～17:00

【休診日】 日曜日・祝日 ※急患はいつでも診察いたします。

【診療科目】 内科・循環器内科・形成外科・眼科・婦人科  
リハビリテーション科・消化器内科・外科・脳神経外科  
緩和ケア内科・放射線科・麻酔科・血管外科・泌尿器科

## NEWS

### 新任医師のご紹介 —よつば家庭医療クリニック

10月1日より、よつば家庭医療クリニックに新しく赴任しました医師をご紹介します。



よつば家庭医療クリニック  
医師  
**安藤慎吾** (あんどうしんご)

#### 専門医

日本プライマリ・ケア連合学会認定  
家庭医療専門医  
日本医師会認定 産業医

#### 所属学会

日本プライマリ・ケア連合学会  
日本産業衛生学会

#### 資格

労働衛生コンサルタント

**よつば家庭医療クリニック**  
〒065-0012 札幌市東区北12条東4丁目1番1号

**TEL 011-722-7700** **WEB** <http://www.yotsubacl.jp/>

## FOCUS

### 時計台記念病院 感染対策について

時計台記念病院の院内感染対策活動についてご紹介いたします。

#### 院内研修会を開催し、 感染対策の意識向上を図る

時計台記念病院では、「原点から考えなおす保健・医療・福祉」という理念の基、日々医療の質向上のため様々な取り組みを行っています。

感染対策、活動においても感染防止の基本的な知識を理解し、科学的根拠に基づき、日常や専門領域における感染防止対策、アウトブレイク時の対応、職業感染防止対策、病院内ラウンド、職員教育などを行っています。

特に今年度は、5月に院内でも複数件の発生報告があり近年問題となっている“クロストリディオイデスディフィシル菌”と“治療に関する

抗菌薬適正使用”について、8月に結核患者と職員が接触したケースが複数続いたため、結核検査変更の周知とともに“潜在性結核”と“治療に関する抗菌薬適正使用”について院内研修を行いました。

参加した職員から「復習ができた」「結核について学べる機会がなかったため良かった」などの声が聞かれました。今後も全職員が、感染対策の対応や意識向上へ繋げることでできる研修を企画していきたいと思えます。

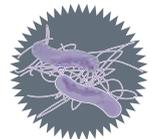
#### 院内で情報を共有し、 タイムリーに情報発信を行う

また、タイムリーな感染情報の共有希望があったため“院内感染情報システム”を作成し、オーダーリング

パソコンから各職員IDでアクセスし、院内感染発生状況(発生日、部署、病室、対策・対応内容)を確認できるようにしました。

更に「感染対策室からのお知らせ」や「札幌市、全国の感染情報」を掲載しており、タイムリー且つ積極的な情報発信が可能になりました。

今後も患者さまやご家族さま及び職員など、当院を利用される全ての方々が安心して過ごせるよう感染対策活動を活発に行っていきたいと思っています。尚、感染に関するご不明点がある際は、院内感染対策室へお気軽にご相談下さい。



#### 診療科目

内科・循環器内科・形成外科・眼科  
婦人科・リハビリテーション科  
消化器内科・外科・脳神経外科  
緩和ケア内科・放射線科・麻酔科  
血管外科・泌尿器科

#### 時計台記念病院

**TEL.011-251-1221**

札幌市中央区北1条東1丁目  
<http://www.tokeidaihosp.or.jp>

# Nurse\* Nurse

## 北光記念病院

## 時計台記念病院

### 入退院支援に繋がる退院前後訪問

地域連携室 入退院支援専従看護師 山溝 静子

今年4月から9月現在迄で退院前訪問10件・退院後訪問17件と実施してきました。

退院前訪問は、患者さま・ご家族ができるだけ安心して在宅療養ができるよう環境の確認や整備をし、支援体制を整えることを目的に実施しています。

退院後訪問は、患者さまの体調確認や介護者であるご家族の疲労状況確認や慰労、更にサービス事業者、また、それを受ける患者さまご家族の疑問や不安に答える機会となることを目的に実施しています。

対象はADLが低下、或いは変わらない状況でも身体負担が予測される環境の患者さまです。入院生活では見えない患者さまの本来の姿が訪問の中で見る事が出来ます。そんな機会を今後もっと増やし、その人らしい入退院支援に繋いでいきたいと考えています。

### 訪問活動について

3病棟 看護師 村井 京子

地域包括ケア病棟では、今年度、退院前訪問・退院後訪問を積極的に行っています。

入院中の患者さまが疾患を抱えた状態で、退院後の生活で困ることがないかという視点で介入しています。

入院中は、ちょっとした段差に足をとられ転びそうになっていた方が、退院前訪問で自宅にうかがった際には、仏間へ上がる10cm程の段差を軽々と上がる様子を見たときに、「長年暮らした環境では体が慣れているのだ。自宅で暮らすことが最善なのだ」ということを実感しました。このように、住み慣れた自宅に戻れるように支援することの重要性を感じています。

\*\*\*\*\*

北光記念病院 看護部 WEB <http://www.hokko.or.jp/nurse/>

### 訪問指導の成果について

2病棟 看護師 澤田 沙織

心不全で入退院を繰り返している90代の患者さまの自宅に、外来担当看護師と共に訪問しました。自宅を訪問して、患者さまの生活スペースと台所がとなりであり、自由に水が飲める状況であることがわかりました。それをふまえ、今以上の制限をかけるのではなく外来受診時に体重増加や浮腫がみられたときは早めに利尿剤を使用し、飲水量が増えても心負担がかからないような内服調整をするという方向性を導くことができました。実際に見たことやわかったことを引き継ぎ・共有を行うことで次につながる個別性のある看護を考えることができました。

### 2019年度回復期リハビリテーション病棟 介護福祉士の取り組み

回復期リハビリテーション病棟では、患者さま毎に担当の各種リハビリテーションスタッフと看護師、医師、社会福祉士がチームとなり、患者・ご家族さまのサポートを行っています。

回復期リハビリテーション病棟には看護師と介護福祉士が配属されていますが、介護福祉士はこれまで担当患者を受け持っていませんでした。しかし、介護福祉士も介護の専門職としてチームの一員となるべく、2017年より学習を積み重ね、その実績は昨年度のカレス サッポロ学術集会で発表されました。そして、この度今年度介護福祉士の患者担当制を開始しました。

特に麻痺などにより後遺症が残りながらも自宅退院を目指す患者さまの担当となり、介護計画の展開やご家族へ

\*\*\*\*\*

時計台記念病院 看護部 WEB <http://www.tokeidaiosp.or.jp/ov-hp/department/nurse/>

の介護指導、チームメンバーと共に自宅訪問に同行して、ご家族の具体的な介護負担軽減へのアドバイスを行っています。さらに退院支援についての学習会も病棟全体で行いました。

今年度からスタートした介護福祉士の担当制。医療が地域完結型へとシフトチェンジを求められている中、介護福祉士の果たす役割はとて重要だと考えています。回復期リハビリテーション病棟の介護福祉士がチーム医療を形作る専門職の一人として、自らの専門性を高め、患者・ご家族さまのより良い介護生活をサポートできるよう、今後も学習を続けてまいります。



## 新人教育研修の紹介

### CVC管理、無菌操作、尿カテ挿入と管理の研修を受けて

北光記念病院 A.Y

今回の研修を受け、尿カテ挿入の手順や無菌操作時の留意点、観察点などを学ぶことができました。実際にシミュレーターを使用し一連の流れを実施することで、どのようにしたらより清潔にケアを行うことができるかを理解することができました。無菌操作を確実に行わないと患者さまが感染を起こすことにも繋がってしまうため、今回学んだ事をもう一度確認して、現場でも安全に実施できるよう努めていきたいです。

### CV管理・尿道カテーテルを受けて

時計台記念病院 M.H

CV管理・尿道カテーテルのシミュレーションでは、清潔操作を徹底するために意識的に清潔と不潔を区別して実施することが重要であると学ぶことができました。そして自分の操作しやすくように物品を配置したり、不潔にならないように後のことを考えて物品の準備を行い、実施していくことも必要であると学んだため今後の技術習得に生かしていきたいと思えます。

### フィジカルアセスメントを受けて

時計台記念病院 N.K

資料や知識として呼吸音や種類、解剖についてある程度学んでいましたが、研修に参加して実際にどのような状態になるのか、観察方法を学ぶ事ができました。さらに症状と疾患のつながりをアセスメントし深める事で難しさを感じながらも学びを深める事ができました。今後自分の部署で実践できるよう経験を積み重ねていきたいです。

### フィジカルアセスメントを受けて

時計台記念病院 S.K

今回の研修では肺の解剖生理について学びました。肺雑音を実際に聴診器で聴くことで、どのような種類がありどこで聴かれるのかなど詳しく学ぶことができました。肺炎の患者さまを事例に、どのような看護をすべきかを皆で考え実践し、観察すべき点について学びを深めることができました。

### CVC管理、無菌操作、尿カテ挿入と管理の研修を受けて

北光記念病院 K.K

ICUでは無菌操作する場面が多く見られ、免疫力が低下している患者さまが多くいます。手順や管理が疎かになると患者さまに不必要な感染を引き起こす可能性があることを研修で学び、それを防ぐための講義や実技を通して助言を受けることができました。今後は清潔なケアに努め、不必要な感染を起こさないように気を付けていきます。

### CV管理・尿道カテーテルを受けて

時計台記念病院 A.N

CV管理・尿道カテーテルのシミュレーション研修を受け、改めて清潔操作の方法や重要性を知りました。CV管理や尿道カテーテルを実践するときはもちろん、それ以外の技術を行う時も清潔不潔を意識していきたいです。また、一つ一つの手技に根拠をもつことで、ミスを減らすことができたり、違うパターンでも応用できることを知り、根拠をしっかり持ち技術を行っていききたいと思います。

### フィジカルアセスメントを受けて

時計台記念病院 M.O

今回フィジカルアセスメントの研修を受け、呼吸音の聴取や事例検討などから、その患者さまに必要なケアや現在のその方の状況などをグループの皆とともにアセスメントし、導き出すことができました。グループ学習を行うことで知識を持ち寄り、様々な角度からアドバイスを受け軌道修正を行えたことで、円滑にグループワークを進めることができました。今後の業務にも活用し患者さまについてよりよいアセスメントを行っていこうと感じた研修でした。



# TOPICS

## 第7回地域医療連携懇話会を開催しました - 北光記念病院

去る9月2日、北光記念クリニック2階「地域ふれあい研修センター」にて第7回地域医療連携懇話会を開催しました。

今回は、昨年のアンケート結果から希望の多かった“不整脈”については不整脈部門の南部 忠詞副部長に、そして、患者さまや近隣の皆様が興味を持っていると考えられる“生活習慣病予防のための食事”について栄養科の田村美香課長に

お願いし講演して頂きました。

アンケートに答えてくれた約85%の方が、講演内容が大変良かった・良かったと答えており、理解度については60~70%理解できたと回答していました。また、参加者の60%が病院・クリニック受診の患者さまでした。自分に当てはまる症状や状況がある方などいらしたようで質問も出ており講演内容はとても有意義なものだったと見受けられました。栄養科

の講演では会場の参加者へ質問をしながら塩分制限について学ぶことができ、参加者も興味深く聴いていました。



質疑応答も充実した有意義な講演となりました

北光記念病院 ホームページ：<http://www.hokko.or.jp/>

## 「日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)2019」に参加して - 時計台記念病院

時計台記念病院 放射線科 御供 駿

9月19～21日にかけて名古屋国際会議場で行われたCVIT2019にコメディカルポスターセッションの演者として「後脛骨動脈穿刺のみで下肢動脈治療を行った1例」という演題で参加させていただきました。

全国学会へ行かせていただくのは2回目であり、若干の緊張はありました

が、時計台記念病院らしい症例を発表することが出来たと思います。自分で発表することや他施設の研究や症例発表を聞くことによって、放射線技師として成長に繋がる場でした。また、他施設の研究方法や症例提示の仕方など、これからの発表の参考になるものも多く、今回学んだことを生かして、今後も全国学会等で研究や症例発表をしていこうと思います。

また、今後学会に行った際には、今回参加することが出来なかった、教育セッションなどにも参加し、日々の業務に生かしていきたいです。



コメディカルポスターセッションで発表しました

時計台記念病院 ホームページ：<http://www.tokeidaihosp.or.jp/>

## 敬老会を開催しました - 介護老人保健施設けあ・ばんけい

9月14日秋晴れの中、「けあ・ばんけい敬老会」を開催しました。当日は多くのご家族さまにも参加していただきました。

祝寿に合わせて黄色・紫・白・桃色・金色のちゃんちゃんこを身に着けると「こんな年になったんだなー」と照れ笑いを浮かべ、23名の祝寿代表の方へ施設長・事務長より記念品が贈られました。

秋を感じながら色とりどりの和菓子

を食べ、目の前で驚きの連続するマジックショーを観覧しました。そして、最後は恒例の久寿玉割りと大盛り



祝寿ごとの色のちゃんちゃんこが用意されました

上がりの中、閉会いたしました。

また来年も皆様と一緒に笑顔でお祝いできることを楽しみにしています。



笑顔いっぱいで大盛り上がりの敬老会となりました

介護老人保健施設けあ・ばんけい ホームページ：<http://www.carebankei.jp/>

【基本理念】

原点から考えなおす保健・医療・福祉

～地域の皆様と共に創る“愛と信頼の輪”～

社会医療法人社団 カレスサッポロ 関連施設のご案内

■ 法人本部

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号  
カレスサッポロビル8階

TEL 011-207-1331 FAX 011-207-2332

■ 北光記念病院

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番6号

TEL 011-722-1133 FAX 011-722-0501

【診療科目】

内科・循環器内科・心臓血管外科・消化器内科・放射線科  
腎臓内科

■ 北光記念クリニック

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番15号

TEL 011-722-1122 FAX 011-722-1212

【診療科目】

内科・循環器内科・放射線科・腎臓内科

■ 時計台記念病院

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-1221 FAX 011-231-5433

【診療科目】

内科・循環器内科・消化器内科・外科・脳神経外科・形成外科  
婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科  
泌尿器科

通所リハビリテーション

■ 時計台記念クリニック

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-2221 FAX 011-251-2881

【診療科目】

内科・循環器内科・消化器内科・形成外科・放射線科・眼科  
婦人科・脳神経外科・外科・リウマチ科・血管外科・泌尿器科

■ 介護老人保健施設 けあ・ばんけい

〒064-0945 札幌市中央区盤渓232-7

TEL 011-615-9623 FAX 011-615-2335

介護老人保健施設

短期入所療養介護

通所リハビリテーション

訪問リハビリテーション

■ ホテルプレミアム・レイクトーヤ

〒049-5721 虻田郡洞爺湖町 洞爺湖温泉 212-3

TEL 0142-75-1011 FAX 0142-75-1012

■ クリニカルシミュレーションセンター

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号  
カレスサッポロビル7階

TEL 011-218-3337 FAX 011-218-3338

■ 札幌市中央区介護予防センター北一条

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号  
カレスサッポロビル8階

TEL 011-251-1340 FAX 011-231-5433

地域包括ケア拠点施設

カレスプレミアムガーデン

〒065-0012 札幌市東区北12条東4丁目1番1号

■ よつば家庭医療クリニック

TEL 011-722-7700 FAX 011-722-7733

【診療科目】

内科（総合診療）・小児科・緩和ケア内科

訪問診療も行っております

通所リハビリテーション  訪問リハビリテーション

住宅型有料老人ホーム

カレスプレミアムガーデン

TEL 011-722-3330 FAX 011-722-2233

居宅介護支援事業所 カレス介護相談センター

TEL 011-722-3335 FAX 011-722-2233

カレス訪問看護ステーション

TEL 011-722-2522 FAX 011-722-2233

カレスヘルパーステーション

TEL 011-722-2511 FAX 011-722-2233

カレスデイサービスセンター

TEL 011-722-3337 FAX 011-722-2233

カレス定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所

TEL 011-722-3336 FAX 011-722-2233

カレス サッポロ

検索

<http://www.caress-sapporo.jp/>